

山陰中央新報

開校80年の節目祝う

江津工業高

記念式典 講演や石見神楽も

県立江津工業高校の開校80周年記念式典が10日、同校近くの江津市江津町の市総合市民センターであり、出席した在校生や教職員、卒業生、来賓ら関係者約400人が節目を祝った。

同校は1934年4月、県立江津工芸学校として開校。「質実剛健」「不撓不屈」を校訓とし、これまでに1万3千人を超える卒業生を輩出している。

式典で大賀美周作校長は同校の歩みを振り返りながら「諸先輩方の工業教育への熱い思いを感じている。これまで以上に生徒諸君、保護者、卒業生、地域の皆さんの期待に応えられる教育を推進したい」と式辞を述べた。

生徒会長の檜本誠君(18)は「3年は「先輩方が築かれた輝かしい伝統を受け

継ぎ、さらに豊かなものにしていきたい」と決意を語った。後、続く後輩たちに伝



江津工業高校の開校80周年を祝う記念式典に臨む出席者

式典後には、同校卒業生で竹中工務店東京本店の西村和也総括作業所長が「わが挑戦への歩み」と題した記念講演を行い、市内の有福温泉神楽団による石見神楽の上演もあった。